

2017 .1【vol.64】

水レター「びわ湖・よど川」

独立行政法人水資源機構 関西・吉野川支社淀川本部 発行

水資源機構全体の取り組みや関西管内における情報のほか、琵琶湖・淀川水系の水源地域情報を、水レター「びわ湖・よど川」により、関係機関の皆様にお知らせします。

index

- | | |
|--------------------------------|------|
| 1. 新年のご挨拶 「淀川流域の更なる安全と安心を目指して」 | 1 p |
| 2. 関西管内の水源状況と気象 | 2 p |
| 3. 関西管内の主な出来事 | 6 p |
| 4. 比奈知ダム定期検査視察会を開催 | 7 p |
| 5. 利水者施設の見学会を開催 ～阪神水道企業団尼崎浄水場～ | 8 p |
| 6. 水道業務体験研修に参加して | 9 p |
| 7. 水資源機構技術研究発表会を開催 | 10 p |
| 8. 関西・吉野川支社環境学習会を開催 | 11 p |
| 9. イベント情報 | 12 p |



水がささえる豊かな社会



独立行政法人 水資源機構

1. 新年のご挨拶

「淀川流域の更なる安全と安心を目指して」

平成29年の年頭にあたり、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様には平素より独立行政法人水資源機構の業務に格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

関西・吉野川支社におきましては、「安全で良質な水を安定して安くお届けする」との当機構の経営理念のもと、淀川水系の7ダム、琵琶湖開発施設、正蓮寺川利水施設等の管理業務と川上ダムと丹生ダムの事業を実施しています。丹生ダムにつきましては、昨年7月に「中止」の方針が決定されました。地元の皆様には苦渋の選択でダムを受け入れていただき、これまでの間、多大なご協力をいただいていたことを思いますと、非常に申し訳ない気持ちで一杯です。



さて、去年は9月に台風16号の和歌山県田辺市付近への再上陸に伴い、一庫ダム及び日吉ダムで洪水をダムに貯め込む防災操作を実施しましたが、幸い例年と比較して防災操作の回数は少なく被害の発生もありませんでした。

一方、少雪や少雨などの影響により、全国8水系で取水制限を伴う渇水となりました。特に利根川水系では取水制限日数が過去最長の79日間となるなど社会的にも大きな話題となりました。当機構では、関係機関とも連携し、水資源の有効活用を図るために上流のダム群と下流の導水路等施設の連携した運用を徹底し節水に努めるとともに、幅広い広報活動を通じて一般の方々に対し節水の協力を要請するなどの取り組みを実施しました。幸い淀川水系では、琵琶湖や上流ダム群は流況にも恵まれ、安定して下流への水供給を行うことができました。しかしながら、地球温暖化に伴う気候変動の影響で、無降水期間の増加や積雪量の減少が生じており、渇水の頻発化、長期化による渇水被害の発生が懸念されます。今後ともハード、ソフト両面による対策を着実に実施していくことが求められています。

一去年は、関東・東北豪雨による鬼怒川の堤防決壊、去年は熊本地震、利根川水系の渇水など、この関西エリアでもこのような災害がいつ起こってもおかしくありません。関西・吉野川支社では、日頃より施設の操作訓練を怠ることなく、今後とも治水・利水の両面にわたり、各管理施設の管理・運用に万全を期し、最大限の効果が発揮できるように努めてまいります。さらに、平成34年度完成に向けて川上ダムを促進するとともに、事業中止となった丹生ダムに伴う地域整備につきましても関係機関と誠心誠意取り組んでまいるので、今年も更なるご支援をよろしくお願い致します。

独立行政法人水資源機構

関西・吉野川支社長 森川 幹夫

2. 関西管内の水源状況と気象

(1) 関西管内の水源状況 (2017年1月)

関西管内の各ダム流域における今年1月の水源状況は次のとおりです。
1月31日現在の貯水率は、ダムではほぼ100%となっております。

(1月31日9:00時点)

施設名	所在地 (予報区)	ダム地点降水量		ダム貯水率	
		(mm)	(平年値)	(%)	(平年値)
高山ダム	京都府山城南部	65	57	90.5	75.5
青蓮寺ダム	三重県伊賀	55	57	98.0	81.8
室生ダム	奈良県北東部	60	57	96.6	79.0
布目ダム	奈良県北西部	64	54	97.5	78.1
比奈知ダム	三重県伊賀	56	54	94.6	89.2
一庫ダム	兵庫県阪神	59	46	98.1	53.2
日吉ダム	京都府南丹・京丹波	42	51	94.9	91.8
琵琶湖	滋賀県全域	162	122	BSL-0.07m	BSL-0.22m

※ダム地点降水量は1月1日～30日までの累計雨量です。

※ダム地点降水量平年値は1月の累計降水量の平年値です。

※ダム貯水率、ダム貯水率平年値は1月31日の値です。

(2) 関西管内の水源状況の見とおし

気象庁の降雨予報によると、日本海側では冬型の気圧配置で、平年と同様曇り、雪、雨の日が多くなる見込みです。春先(3月～)においては高気圧と低気圧が交互に通る、数日の周期で変わる見込みです。太平洋側は晴れの日が多いですが、春先になると、日本海側と同様、高気圧と低気圧が交互に通る、数日の周期で変わる見込みとなっております。

(3) 関西管内水源情報について

関西管内における各ダムの貯水状況、補給状況等詳細情報は、関西・吉野川支社淀川本部ホームページの水源情報に掲載しておりますのでご覧ください。

水資源機構関西・吉野川支社淀川本部HPアドレス

<http://www.water.go.jp/kansai/kansai/html/suigen/suigen.html>

(参考) 気象情報 (大阪管区気象台HPより抜粋)

① 近畿地方の天候 (2016年12月)

冬型の気圧配置が長続きせず、大陸からの寒気の影響が小さかったため、気温はかなり高く、日本海側の降雪量はかなり少なくなりました。また、日本の南と東で高気圧が強く、湿った空気が流れ込みやすかったため、降水量はかなり多くなりました。

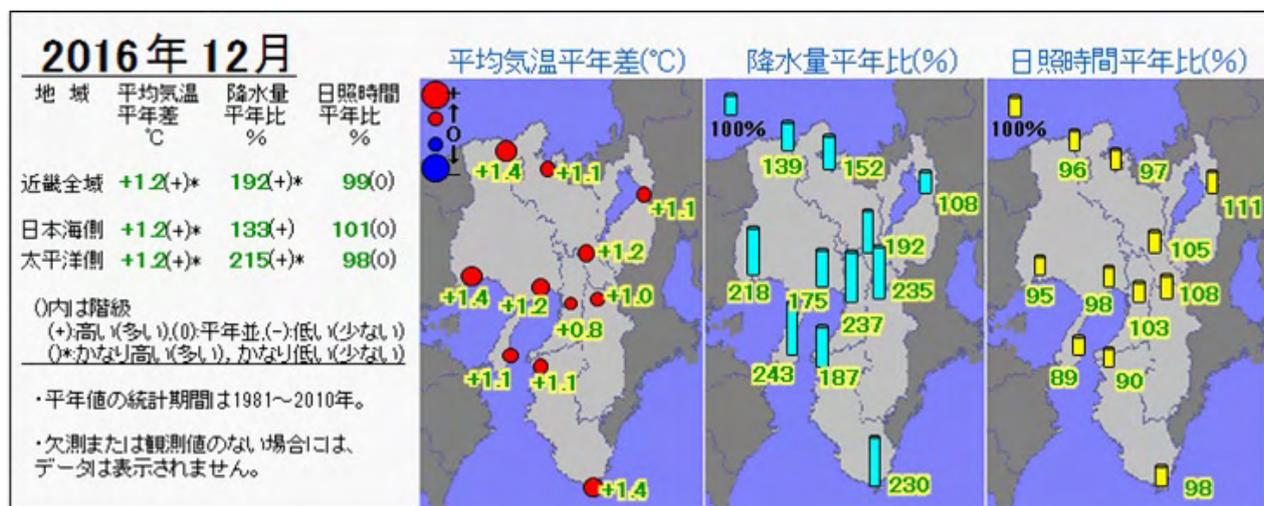
12月の日本海側の降雪量は平年比0%で、1961年の統計開始以降、少ない方からの1位となりました。

上旬：高気圧と低気圧が交互に通る、天気は数日の周期で変わりました。冬型の気圧配置は長続きせず、太平洋側を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多くなりました。

中旬：期間の中頃にかけては、冬型の気圧配置が強まった日がありました。このため、日本海側を中心に曇りの日や雪または雨の日が多く、山地では積雪となった所がありました。期間の終わりは、冬型の気圧配置が緩み、晴れた日が多くなりました。また、気温は平年並となりましたが、寒暖の変動が大きくなりました。

下旬：短い周期で低気圧が通過したため、曇りや雨の日が多くなりました。低気圧の通過後は、一時的に冬型の気圧配置となって平地も雪の降った日がありました。

	上旬		中旬		下旬	
	気温	降水量	気温	降水量	気温	降水量
日本海側	高	平年並	平年並	多	かなり高	多
太平洋側	高	平年並	平年並	かなり多	かなり高	かなり多

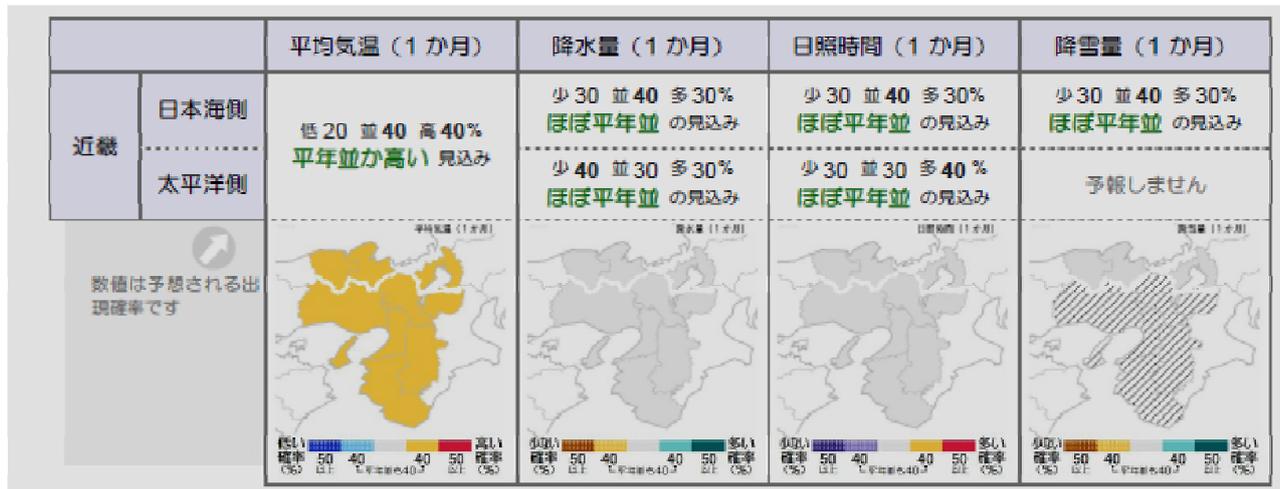


②近畿地方の天候の見とおし（大阪管区气象台HPより抜粋）

1ヶ月予報（1月28日から2月27日まで）

期間のはじめは冬型の気圧配置が弱く、暖かい空気に覆われやすいため、気温がかなり高くなる見込みです。

2週目以降は冬型の気圧配置となりやすく、寒気の影響を受ける時期があるため、向こう1か月の日本海側の降雪量はほぼ平年並の見込みです。

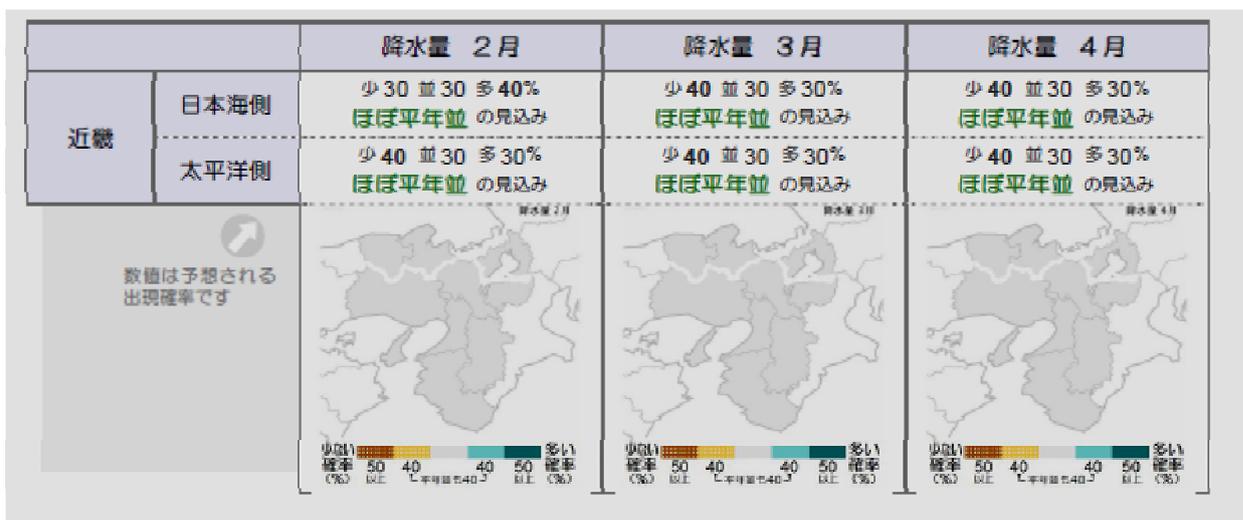


3ヶ月予報（2月から4月まで）

2月 冬型の気圧配置の影響で、日本海側では平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

3月 高気圧と低気圧が交互に通るでしょう。日本海側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。

4月 高気圧と低気圧が交互に通る、天気は数日の周期で変わるでしょう。平年と同様に晴れの日が多い見込みです。



流域・水源の雨量・貯水量・ダムからの補給量一覧表

2017年1月31日 9時00現在

ダム名	水位(※2)		貯水量(※1.2)				流量(※2)		補給量(過去3ヶ月:11月~1月)(※3,4,6)					雨量(ダム地点)(過去3ヶ月:11月~1月)(※5,6)					
	貯水位 (標高m)	貯水量 (万m3)	貯水率 (%)	平年 貯水量 (万m3)	平年 貯水率 (%)	貯水量 平年比率 (%)	ダム流入 量 (m3/s)	ダム放流 量 (m3/s)	当日9時の 補給量 (m3/s)	累計補給 量(過去3ヶ 月)(万m3)	平年ダム 累計補給 量(過去3ヶ 月)(万m3)	補給量平 年比率 (%) (過去3ヶ 月)	H29.1月 補給量(1 日~30日) (万m3)	平年1月月 間補給量 (万m3)	累計雨量 (過去3ヶ月) (mm)	平年累計 雨量 (過去3ヶ月) (mm)	雨量平年 比率 (過去3ヶ月) (%)	H29.1月 雨量 (1日~30 日)(mm)	平年1月 月間雨量 (mm)
高山ダム	133.13	4,452	90.5	3,713	75.5	119.9	13.97	13.57	0.0	46	354	13.0	46	77	255	194	131.2	65	57
青蓮寺ダム	276.58	1,873	98.0	1,564	81.8	119.8	3.20	3.47	0.3	20	121	16.5	20	36	240	187	128.3	55	57
室生ダム	295.03	1,284	96.6	1,050	79.0	122.3	2.36	2.59	0.2	16	65	24.6	10	18	289	197	146.9	60	57
布目ダム	283.62	1,238	97.5	991	78.1	124.9	1.93	1.92	0.0	24	152	15.8	17	56	254	185	137.4	64	54
比奈知ダム	299.85	1,447	94.6	1,364	89.2	106.1	1.51	0.83	0.0	0	33	0.0	0	16	235	173	135.7	56	54
一庫ダム	148.60	2,630	98.1	1,425	53.2	184.5	4.97	4.97	0.0	1	206	0.5	1	75	255	178	143.6	59	46
日吉ダム	190.39	3,417	94.9	3,305	91.8	103.4	30.67	18.42	0.0	27	358	7.5	2	77	169	180	93.7	42	51

湖沼名	水位(※2)			雨量(過去3ヶ月:11月~1月)(※5,6)				
	(B.S.L)	平年 水位 (m)	平年値との 差(m)	累計雨量 (過去3ヶ月) (mm)	平年累計 雨量 (過去3ヶ月) (mm)	雨量平年 比率 (過去3ヶ月) (%)	H29.1月 雨量 (1日~30 日)(mm)	平年1月 月間雨量 (mm)
琵琶湖	-0.07	-0.22	0.15	402	347	115.8	162	122

※1 貯水率は、10月16日より非洪水期の利水容量で計算しております。

※2 貯水位(琵琶湖を除く)、貯水量、流量は当日9時のデータです。琵琶湖水位は当日6時の値です。

※3 補給量は当日0時までのダム放流量と流入量の差を累計した値です。

※4 当日9時の補給量は瞬時値として当日9時における放流量と流入量との差で表しております。

※5 雨量は当日0時までの累計値です。

※6 補給量、雨量(琵琶湖除く)の平年累計値は平成11年4月以降(7ダム管理開始)からのデータを使用しております。

琵琶湖雨量の平年累計値は平成4年4月以降からのデータを使用しております。

流域名	雨量(過去3ヶ月:11月~1月)(※7,8,9)				
	累計雨量 (過去3ヶ月) (mm)	平年累計 雨量 (過去3ヶ月) (mm)	雨量平年 比率 (過去3ヶ月) (%)	H29.1月 雨量 (1日~30 日)(mm)	平年1月 月間雨量 (mm)
枚方上流域	327	242	135.1	123	81
桂川流域	298	219	136.1	91	71
宇治川流域	252	187	134.8	62	57
木津川流域	240	177	135.6	58	54
猪名川流域(※9)	206	171	120.5	58	46

※7 暫定値であり数値は変動する場合があります

※8 雨量の平年累計値は平成6年からのデータを使用しております。(20年間)

※9 猪名川流域は、ダム下流の上池田地点雨量を使用しております。

(出典:国土交通省水文水質データベース)

3. 関西管内の主な出来事

関西管内における前号発行（平成 28 年 11 月 30 日）以降の主な出来事をお知らせします。

- 12 月 2 日（金）：第 2 回環境学習会を開催（主催：関西・吉野川支社淀川本部）
- 3 日（土）：水生生物供養祭及び安全祈願祭に出席（主催：猪名川漁業協同組合）
- 4 日（日）：やまぞえ布目ダムマラソン大会が開催（881 名参加）
- 4 日（日）：琵琶湖畔のヨシ刈りと外来生物の駆除に参加（主催：高島市、共催：針江生水の郷委員会）
- 5 日（月）：水機構職員による利水者施設の見学会を実施（阪神水道企業団尼崎浄水場を見学）
- 8 日（木）～9 日（金）：一庫ダムでダム定期検査を実施
- 9 日（金）：関西・吉野川支社淀川本部管内安全協議会を中津川管理室で実施
- 13 日（火）～16 日（金）：青蓮寺ダム・比奈知ダムでダム定期検査を実施
- 15 日（木）：比奈知ダム定期検査の公開を実施
- 15 日（木）：琵琶湖開発総合管理所で構築、開発を行った職員支援システム（HMD（ヘッドマウントディスプレイ））の取材対応
- 15 日（木）～28 日（水）：平成 28 年度水資源機構に関するアンケートを利水者、発電事業者及び関係府県へ依頼
- 1 月 11 日（水）：ボランティアグループ「豊能町コピスクラブ」の長年に亘る里山保全管理活動や水源地への貢献に対して関西・吉野川支社より感謝状を贈呈
- 19 日（木）：全国故障事例検討会を開催（水機構で運用している機械、電気設備の故障原因・対応方法における勉強会）



4. 比奈知ダム定期検査視察会を開催

平成 28 年 12 月 15 日(木)に、比奈知ダムにおいてダム定期検査が行われました。ダム定期検査は、国が定める「ダム検査規程」に基づき、3 年に 1 回以上の頻度でダムの維持、操作その他の管理の状況について検査するもので、その結果については河川管理者に報告しています。また検査の結果は、施設の維持管理方針や設備の更新計画を立案するための基礎としても使用しています。

今回の定期検査の実施にあたり、関西管内の事業に参画されている利水者、発電事業者並びに関係府県の皆様を対象に視察会を開催し、8 機関 19 名の方に参加いただきました。視察会では、ダム定期検査の実施手順、検査手法及び検査項目、また、今回検査を行う比奈知ダム及び木津川ダム総合管理所の概要を説明した後、現場において実施されている漏水量測定施設の検査や放流設備の動作試験など、現地検査の状況の一部をご覧いただきました。

参加された皆様からは、「ダムの仕組みがよく分かる内容だった」、「実際に検査している状況が見られてよかった」、「定期検査のポイントを知ることができた」等の感想をいただき、満足度を得た視察会になったようです。



(定期検査視察会内容)

ダム操作室	定期検査説明、ダム概要説明、操作室設置設備説明
常用洪水吐ゲート室	常用洪水吐(2号)ゲート動作試験
プラムライン室	たわみ計測(ノーマル)
三角堰	漏水量測定三角堰検査
利水放流設備バルブ室	利水放流設備動作試験
ダム操作室	常用洪水吐ゲート動作試験



機側での利水放流設備の対向試験状況



漏水量測定三角堰検査状況



操作室での設備の説明



ダム定期検査の概要説明

5. 利水者施設の見学会を開催 ～阪神水道企業団尼崎浄水場～

平成 28 年 12 月 5 日（月）に、機構職員の関係利水者の事業や施設への理解を深めることを目的として、関西管内の機構職員 13 名が、阪神水道企業団尼崎浄水場を見学させていただきました。

同企業団には、2つの浄水場（尼崎浄水場・猪名川浄水場）があります。そのうち、尼崎浄水場は同企業団の創立事業において整備され、昭和 17 年から給水開始した、同企業団で最も歴史のある浄水場です。その後、経年劣化及び阪神淡路大震災による被災のため全面更新され、平成 13 年から新たに稼働しています。施設能力は、373,000m³/日で、神戸市、尼崎市、西宮市、芦屋市に給水されています。

はじめに、企業団の概要をご説明いただいた後、場内の施設を見学しました。

施設見学では、中央管理室や沈澱池、オゾン処理施設などをご案内いただきました。こちらの施設の特徴として、オゾン処理施設については、省スペース及び省コストを図るため、隣接した民間酸素工場からパイプラインで酸素を受け入れ、酸素原料からオゾン発生を行っているとのことでした。また、浄水池の上部は商業施設を誘致し有効活用されているそうです。そのほか、水処理工程を模型で展示されており、淀川から取水した水が水道水になるまでの過程をとっても分かりやすく学ぶことができました。

最後に、浄水場の方々にはお忙しいなかご丁寧な対応をしていただきました。当機構の経営理念である「安全で良質な水を安定して安くお届けする」をあらためて認識した見学会でした。対応頂いた同企業団の皆様に関心と心より御礼申し上げます。



6. 水道業務体験研修に参加して

水道業務体験研修は、機構職員の人材育成の一環として、水道事業の実情について身をもって知ることにより、利水者である水道事業者の視点を理解し、将来の業務遂行の礎とすることを目的として、平成 18 年から実施しています。

今年度は 11 月 28 日から 12 月 2 日までの 5 日間にわたり、2 名の機構職員が、大阪広域水道企業団村野浄水場の皆様のご協力により浄水場の業務を体験し、また、各施設の役割や効果について、浄水場の皆様からご講義をいただきました。

ここでは、今回の研修を通して、研修生が学んだことや感じたことについて、ご紹介させていただきます。

◆ 木津川ダム総合管理所 電気通信課 萩尾 俊樹

今回の研修を通して、機構職員が管理している水源施設で確保された水が企業団の方々の厳しいチェックによって飲める水にする過程を知ることができたのはとても貴重な体験になりました。また、災害時の対応や管理体制など機構と密接のあるお話もしていただきましたので、情報を共有しより良い管理を行っていきけるように活かしていきたいと思います。最後になりますがお忙しい中、ご丁寧な説明や施設見学などたくさんの時間を割いていただき本当に有り難うございました。



村野浄水場全景



水質検査

◆木津川ダム総合管理所 布目ダム管理所 片岡 賢治

取水から始まり、水の処理工程ごとに施設の概要を丁寧にご説明いただき、深く理解する事が出来ました。また、日本でも有数な高度処理施設や階層系浄水施設を見学させていただき、貴重な経験が出来ました。

村野浄水場では生活用水を送水しており、いかなる場合においても正常に送水するため、設備に問題が発生した際は直営作業で早期復旧に努め、水質や送水管理においても 24 時間体制で管理されており、職員の技術力と意識の高さが伺えました。

本研修で学んだことや経験を今後の業務に反映出来る様努めていきたいと思ひます。



ジャーテストの様子
(適正な凝集剤の注入率を決めるための試験)

7. 水資源機構技術研究発表会を開催

平成 28 年 12 月 6 日～7 日に、水資源機構本社において「平成 28 年度水資源機構技術研究発表会」が開催されました。技術力の向上と継承などを目的に毎年開催され、今回で 50 回の節目となりました。

本年度は、機構が進める ICT・IoT（情報通信技術等を利用して、建設現場での生産性向上や管理現場での効率的な手法）を題材にしたものや管理設備の機能性の向上といった題材が多く、普段から各職員が機構業務の推進や効率化について、真剣に取り組む姿勢がわかる内容となっています。

なお、発表された全 30 題のうち、理事長賞 5 題、特別賞 2 題が受賞されましたが、関西管内から推薦した 5 題の論文のうち 1 題が理事長賞を受賞しました。次年度も本年度同様、理事長賞を目指して研鑽してまいります。



発表の様子（琵琶湖総管：内田）



受賞者と審査員

【理事長賞】

論文名	所属	氏名
小石原川ダムにおけるCIMの導入と活用策の検討	朝倉総合事業所	坂井田 輝
房総導水路緊急改築事業におけるポンプ速度制御装置VVVF導入に対応した換気設備設計	千葉用水総合管理所	歳方 一也
寺内ダム取水ゲート開口部の安全対策	朝倉総合事業所	井上 剛識
タブレット端末を用いた機械設備管理支援端末システム構築 ～機械設備管理の効率化～	池田総合管理所	佐々木浩司
ICTを活用した排水機場運転支援・不具合対応支援システムの開発	琵琶湖開発総合管理所	内田 颯太

【特別賞】

論文名	所属	氏名
渇水時こそダムが活躍する時 ～不特定補給受益者への広報アプローチ～	下久保ダム管理所	金山 明広
減価償却システムを利用した管理費負担金の平準化に関する一考察	財務部	延平 千佳子

8. 関西・吉野川支社環境学習会を開催

平成 28 年 12 月 2 日（金）に、関西・吉野川支社において、関西管内の職員を対象（参加者 13 名）に今年度 2 回目の環境学習会を開催しました。

水資源機構では、職員の環境に対する意識と知識の向上を図ることを目的として、毎年、環境学習会を開催しています。

今回の学習会は、公益財団法人琵琶湖・淀川水質保全機構より、琵琶湖・淀川水質浄化研究所 副所長 和田桂子様を講師としてお招きし、「琵琶湖・淀川流域における水環境を俯瞰した水質データの利活用」と題して琵琶湖・淀川流域での水質変化と気象条件、社会構造の変化との関連などを講演していただきました。

講演では、「琵琶湖では BOD^{※1} の値は改善されてきているが COD^{※2} の値が改善されない乖離が起こっており、難分解性有機物が影響しているのではないか。」、「淀川の水質は改善され環境基準を達成している。しかし、上水にとっては、原水が改善されると浄水作業が難しくなる。」、「下水道の整備と BOD の変化」といった話があり非常に興味深い講演でした。

講演後に、「TOC^{※3} を水質の指標として使用しないのか。」という質問に対して、TOC は BOD・COD に比べると新しい指標であり、比較するための過去のデータがないため今は使えない。という話や、下水のオゾン処理の実験や、膜処理の研究が行われているという話もあり、聴講した職員にとって大変有意義な学習会となりました。



今後も引き続きこのような環境学習会を通して淀川流域の環境に関する知識を習得し、職員個々の意識の向上を図り、日々の業務に生かせるように取り組んでまいります。

※ 1 : BOD（生物化学的酸素要求量）とは、水中の有機物が微生物の働きによって分解される時に消費される酸素の量を表したもの。

※ 2 : COD（化学的酸素要求量）とは、水中の有機物を酸化するために必要とする酸素の量を表したもの。

※ 3 : TOC（全有機炭素）水中にある有機物の総量を有機物に含まれる炭素の量で表したもの。

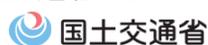
9. イベント情報



水源地やその周辺で行われるイベントを紹介します。

開催時期	行事名・主催、問い合わせ先等	開催場所	概要
平成29年 1月7日(土) ～3月12日(日)	第66回 長浜盆梅展 公益社団法人長浜観光協会 HP http://bonbai.jp/	滋賀県長浜市港町2-5 (慶雲館内)	歴史・規模ともに「日本一の盆梅展」。明治の和風建築「慶雲館」のお座敷に、ずらりと並んだ盆梅は見ごたえたっぷり。
平成29年 1月28日(土) ～2月4日(土)	第13回 美山かやぶきの里「雪灯廊」 かやぶきの里雪灯廊実行委員会 HP http://www.yukitouro.jp/	京都府南丹市美山町北 美山かやぶきの里	雪灯籠、竹灯籠、花灯籠など、合計約900基以上の灯籠が点灯し、夜のかやぶきの里をあかりで演出します。雪灯廊終了後も、かやぶき民家のライトアップが2/28まで行われる予定。
平成29年 2月5日(日) 申込期間は終了 しています	南山城村 高山ダム駅伝 南山城村お茶っぴクラブ HP http://myvillage-sc.com/takayama/index.html	高山ダム周辺 (京都府 相楽郡南山城村)	小学生・中学生・高校生・一般の部があり、高山ダム周辺を周回する駅伝大会です。今回で3回目の新しい大会です。
平成29年 2月19日(日) 申込期間は終了 しています	月ヶ瀬梅溪早春マラソン大会 月ヶ瀬梅溪早春マラソン大会事務局 HP http://www.e-marathon.jp/tsukigase/index.php?menuindex=2	高山ダム周辺 (京都府 相楽郡南山城村)	10kmコース・5kmコース・3kmコースがあります。美しい空気と豊かな自然景観に恵まれた月ヶ瀬梅溪を会場に、心のふれあいと交流の輪を広げることを目的としています。
平成29年 2月26日(日) 申込期間 2/10まで (定員あり:先着順)	第31回名張青蓮寺湖駅伝競走大会 名張青蓮寺湖駅伝競走大会事務局 HP http://www.city.nabari.lg.jp/s062/20170106165237.html	青蓮寺ダム周辺 (三重 県名張市)	一般(男子・女子・混成)、中学生((男子・女子・混成)の各部があります。淀川流域の交流及び参加者の体力づくりと相互の融和をはかり、健康で明るい地域社会の形成に努めることを目的としています。
平成29年 3月4日(土) ※雨天中止の場合は 翌日	曾爾(そに)高原山焼き 曾爾村観光協会 HP http://yamatoji.nara-kankou.or.jp/02nature/02kougen/03east_area/sonikogen/event/0000000002/	奈良県宇陀郡曾爾村太 良路(曾爾高原)	秋にはススキで覆い尽くされていた曾爾高原で、草木が芽を吹く前のこの時期に山焼きがおこなわれます。曾爾の春を迎える伝統行事となっています。

国土交通省のダムツーリズムHPにもいろいろな情報が載っていますよ



http://www.mlit.go.jp/river/dam/dam_tourism.html

